

Oxford/New York/Tokyo, 1993, pp189-218.

Young LJ, Wang Z, Insel TR. Neuroendocrine bases of monogamy. *Trends Neurosci* 1998; 21: 71-75.

Young LJ, Pitkow LJ, Ferguson JN. Neuropeptides and social behavior: animal models relevant to autism. *Mol Psychiatry* 2002; 7: S38-S39.

Young LJ. The neurobiology of social recognition, approach, and avoidance. *Biol Psychiatry* 2002; 51: 18-26.

Young LJ, Pitkow LJ, Ferguson JN. Neuropeptides and social behavior: animal models relevant to autism. *Mol Psychiatry* 2002; 7 Suppl 2: S38-S39.

お断り：紙面の関係で引用文献の一部を割愛したので次年度に網羅する予定である。

平成15年度厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）

厚生労働科学研究（子ども家庭総合研究事業）「乳幼児から思春期まで一貫した子どもの健康管理のための母子健康手帳の活用に関する研究（H14-子ども-003）」

主任研究者 小林正子（国立保健医療科学院 生涯保健部 行動科学室長）

分担研究課題「母子健康手帳に載せる育児情報に関する科学的根拠の検討：小児科医・産科医・母親・学生等の意見収集・分析」 その2「母子健康手帳に関するアンケート調査による研究」

分担研究者 大西鐘壽（香川医科大学 名誉教授 高松短期大学 保育学科教授）

**研究要旨** 医療関係者については、集計を行ったアンケート用紙は1008で、職種の記載のあった1002名のうち看護職が651名（65%）、小児科医211名（21%）であった。母子手帳の利用は健診（92%）、診察（91%）で役立つとしており、具体的には予防接種（66%）、発育具合（55%）に役立つとしていた。母子手帳に関する希望については、手帳のサイズに関しては大きいものを希望する人は26%で、43%が希望しないという回答であった。内容改定については改善の希望（45%）、どちらでもない（47%）で差が認められなかった。記載内容については、不足する点は特になく（80%）、各月齢の保護者と医療者の記載内容について追加削除の希望は10%であった。内容改定に際しての希望は予防接種の受け方（50%）、子育ての具体的な情報（42%）、病気やケガの応急処置（34%）が多かった。記録期間の延長については現状の小学校入学まで（45%）が多いものの、中学校卒業まで（22%）、小学校卒業まで（17%）の希望があった。子どもの権利条約については、赤ちゃんが母乳を飲む権利を母親に知らせる（54%）、90%以上の母親が母乳だけで赤ちゃんを育てられることを知らせる（51%）、生後6ヶ月間は果汁などの水分も必要ないと推奨していることを知らせる（34%）、母乳育児成功のための10か条を記載する（52%）、世界中の赤ちゃんが出生後2年かそれ以上母乳で育てられるべき（23%）、母乳代用品の販売流通に関する国際基準で人工乳などの宣伝を規制する勧告を知らせる（24%）などについてそれぞれ（ ）内が同意の割合であった。妊娠中の煙草やアルコールの害の危険性や禁煙外来受診を勧める項目が必要であるが81%と高率であった。しかし、医療関係者の回答としては、煙草やアルコールの害について意識が低いと評価された。母乳育児の発育曲線の基準値の記載の必要性については、どちらでもよいが42%で、記載した方がよいが（35%）であった。離乳の開始、完了などの基準を記載したほうがよい（58%）、1歳6ヶ月健診で「母乳を飲んでいますか」と聞く質問が不要（58%）との回答が多かった。テレビ・ビデオ・テレビゲームの弊害については深刻な事例が報告されており、生後3歳までの脳の可塑性が大きい時期においては発達精神神経学的に重要な問題を包含している。妊娠分娩の関連事項での記載欄の希望は、超音波の写真を貼るスペース（33%）、重症新生児の記載欄（22%）であった。妊娠中の煙草やアルコールの害について具体的な危険性の説明（83%）などは必要とされていた。育児に関しては今回の設問の中では多くの項目で肯定的な意見が多かった。どちらともいえない、もしくはどちらでもよいと解答された項目が31-58%と否定的な回答よりいずれも多かった。

母親については、アンケート調査の対象の背景は、子供の数は一人が56%、年齢も0歳が17%、5歳以下で71%と比較的若年の子供の母親を対象とした集計であった。3ヶ月までの母

乳栄養率は約5割(第1子で48%)で、混合栄養を含めると約9割(第1子で88%)で母乳栄養率が比較的高率な集団が背景と考えられた。母子手帳の利用に関する現状について、母子手帳を受け取った際に85%が一通り目を通し、ほぼ全例が所持し、医療機関受診時には72%が持っていた。育児の参考に使用するが55%、子供の成長の確認として16%が利用していた。育児の参考に際(55%)にはよく母子手帳を利用しており、具体的には成長の記録(64%)として利用している人が最も多かった。その他、妊娠出産時(33%)や予防接種(38%)が多かった。離乳食の事に関しては役立つとしたものは2.3%で極めて少数であった。離乳の内容記載の希望は58%であった。母子手帳に関する母親の希望について、手帳のサイズに関しては大きいものを希望する人(16%)がある一方で、84%の人が大きいサイズを希望しないという回答であった。手帳の記録期間の延長については現状の小学校入学までが多い(53%)ものの29%が小学校卒業までを希望した。母乳および授乳について各項目とも問21(45%)を除き約7割前後が必要であるとした。中でも問22の授乳中の母親の視線については84%が記載を必要であるとした。医療機関以外での利用は、育児の参考に際(55%)に比較的好く母子手帳を利用しており、具体的には成長の記録(64%)として利用している人が最も多かった。その他、妊娠出産時(33%)や予防接種(38%)が役立つ事項であった。育児の具体的な指針として充分かという問に対しては肯定的な反応が76%と高率であり信頼する育児の情報源であることを伺わせた。手帳の記載内容改定に際しての希望は、病気やケガの応急処置(58%)、具体的な予防接種の受け方(32%)、子育ての具体的な情報(31%)、授乳中の薬の使い方(27%)、赤ちゃんへの薬の与え方(23%)が多い事項であった。発育記録や予防接種歴、健康状態を記録するばかりでなく、よりきめ細かな健康情報も盛り込んだ手帳が必要とされていた。胎児超音波の写真を貼るスペースの希望は70%に上った。これは、対象母親の第一子の年齢が5歳以下の割合が71%であり、比較的低年齢層であることが影響していると考えられた。育児について感じていることでは、多くの人(64%)が楽しいとしているものの、疲れる(46%)、母親の負担が大(36%)と感じている人も多いことが判明した。一方でつまらない(0.5%)、苦しい(2%)と感じる方は非常に少数であった。1歳半以降で母親自身に関心のある情報の内容はしつけ(60%)、食事(42%)、接し方(41%)であった。発達段階に合わせた「しつけ」の情報が75%の人で必要とした。早期教育について発育を歪める警告の必要性については49%の人がどちらとも言えないとしており必要であるとした人の44%を上回った。子どもの友達、母親の友達が欲しいとしたものは92%であった。母親の子供と離れたくないという気持ちの子に対する悪影響の記載については45%がどちらともいえないとした。外遊びの必要性は84%で記載を必要であるとした。1歳半ごろの子供について、乱暴な行動は発達の過程(64%)、母親の子供への否定的な感情の解決法の記載について必要(73%)、2歳半前後の目を見つめて信頼する態度で対応(68%)、セルフコントロールを育てる方法の記載が大変必要(70%)、しつけとして子供をたたく影響の記載が必要(71%)、子供への上手な接し方や遊ばせ方の記載が必要(79%)、他の子供を攻撃するときの対応の仕方(80%)、子供の行動の動機について大体つかめる(81%)であった。

アンケートの集計結果について箇条書きの設問に対する回答以外に傾聴すべき意見が多数寄せられた。代表的な意見を考察の項に掲げた。次年度にその詳細を分析し報告する予定である。

**研究協力者:**

河田興、伊藤進

(香川大学医学部小児科講座)

三木崇範(同大学神経機能形態学)

戸莉創(名古屋市立大学小児科教室)

杉浦壽康(愛知県小児科医会会長)

犬飼和久(浜松市小児科)

石井広重(浜松市産科婦人科)

根岸和子(群馬県小児科)

渡辺昭彦(神奈川県小児科)

山内芳忠

(国立病院岡山医療センター小児科)

基常日出明(松江市小児科)

瀬尾智子(日本母乳の会)

志田紀子、吾妻雅子(育児カレッジ)

大西喜久子(香川大学医学部医師会)

**A. 研究目的**

現行の母子健康手帳に記載されている内容に関する医療関係者のみならず当事者である母親の意向調査を行い改善すべき事項を明らかにする。それと同時に、第二次世界大戦後の半世紀余り前から開始された、出生直後に抱いて直接授乳する前に「哺乳瓶による人工乳や糖水の投与」、新生児室収容による非人間的な「母子分離」、後遺症なき救命の一点に徹した陣痛室・分娩室・新生児室における「医学的処置」、疼痛や不安に対して最も敏感な新生児という存在に対する配慮の乏しい諸々の「医学的検査や処置」、等々に対して科学的根拠に基づいた深い反省から再発見された「母子が共に哺乳類の一員であり、そのように対処されるべきである」という当然のことが現在は世界的な潮流となっている。かような視点に力点を置いて調査用紙を作成した。したがって、記載されている内容は、現場との間に乖離が存在する場合もあるが、アンケート調査を通して医療関係者のみならず

母親に対しても啓蒙を意図して行った。

尚、目的と方法は医療関係者と母親は共通であるので、一括して述べ、結果と考察は別々に記載した。考察は「母子健康手帳に載せる育児情報に関する科学的根拠の検討」の該当する項目でも論じた。内容が膨大であるので総てを網羅的に論ずることは不可能であるので偏った内容になっていることを始めにお断りする。

**B. 対象と方法**

別紙に示すアンケート調査用紙は目的の項で述べた基本姿勢で作成した。母子健康手帳の記載内容について小児科医、看護師、助産師などの医療関係者がいかなる意見を持っているか、育児に携わっている母親が母子健康手帳を通していかなる情報を必要としているかについての的確に把握することを目的として、先ずアンケートの設問について各層の意見を収集した。更に実際に回答を依頼して詳細な検討を行った。これ等の予備的な資料をもとにアンケート調査記入票を作成した。科学的根拠などの詳細については別に項を改めて述べた。平成15年9～11月に配布し、平成15年12月末までの回答分について集計した。アンケートの配布は名古屋市立大学小児科同門会・愛知県小児科医会・香川大学医学部小児科関連病院・香川県小児科医会・香川県助産師会・香川県母乳の会、育児カレッジ、神奈川県小児科医会・及び岡山市・浜松市・松江市・群馬県藤岡市などの地域の開業医師・病院勤務医師、などの医療関係者および主として小児科医を通じて母親に記入を依頼し、回収した。集計したアンケート用紙数について、医療関係者は1008、母親は1541であった。

以下は医療関係者と母親の二群に分けて記載する。

C. 研究結果

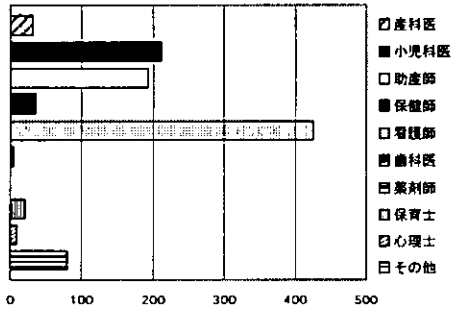
I. 医療関係者

医療関係者のアンケート 調査結果

一般的な事項

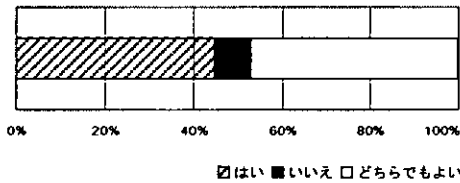
問1 職種をお書きください

1)	産科医	31
2)	小児科医	211
3)	助産師	192
4)	保健師	35
5)	看護師	424
6)	歯科医	4
7)	薬剤師	0
8)	保育士	20
9)	心理士	9
10)	その他	80



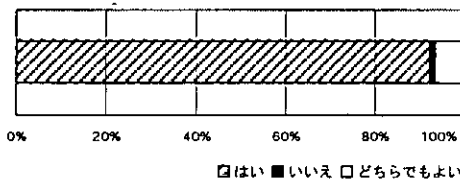
問2 母子手帳について改善を希望しますか

1)	はい	411
2)	いいえ	74
3)	どちらでもよい	435



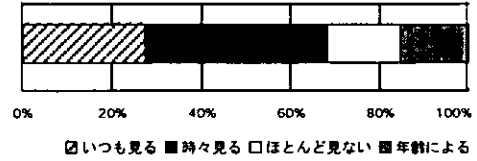
問3 乳児健診などの健診の時に有用ですか

1)	はい	899
2)	いいえ	11
3)	どちらでもよい	64



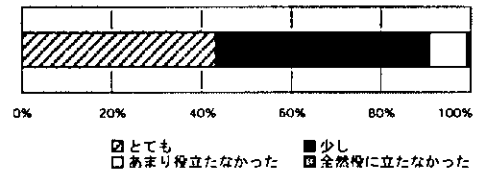
問4 お子さんを診療所や病院で診察するときなどに母子手帳をみますか

1)	いつも見る	261
2)	時々見る	386
3)	ほとんど見ない	155
4)	年齢による	146



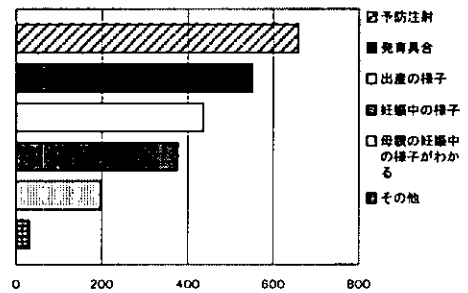
問5 子供の診察などに母子手帳は役に立ちましたか

1)	とても	434
2)	少し	482
3)	あまり役立たなかった	86
4)	全然役に立たなかった	7



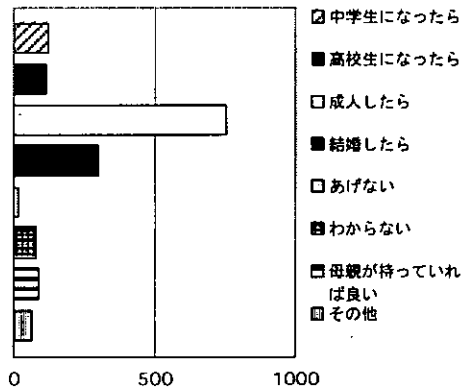
問6 項目5.で役に立った(1,2)と答えられた方は役立った具体的な事項について

1)	予防注射	657
2)	発育具合	550
3)	出産の様子	435
4)	妊娠中の様子	376
5)	母親の妊娠中の様子がわかる	196
6)	その他	30



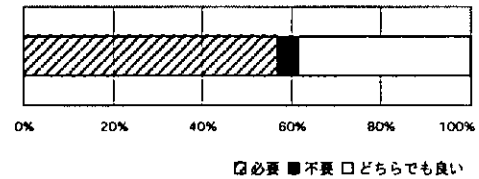
問7 将来母親が母子手帳をお子さんにあげるとしたらいいがよいと思いますか

1)	中学生になったら	119
2)	高校生になったら	109
3)	成人したら	750
4)	結婚したら	295
5)	あげない	16
6)	わからない	77
7)	母親が持っていれば良い	86
8)	その他	64



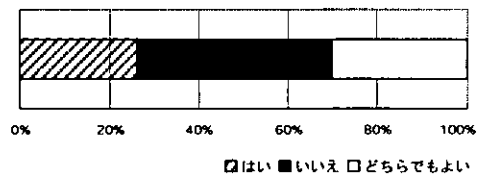
問10 聴カスクリーニングの項目を加えることについて

1)	必要	553
2)	不要	45
3)	どちらでも良い	374



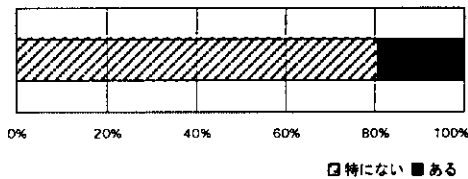
問11 手帳のサイズ (14.8cm×10.6cm) は現在は全国でまちまちですが大きいほうが良いですか

1)	はい	257
2)	いいえ	431
3)	どちらでもよい	297



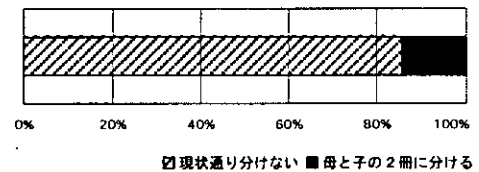
問8 母子手帳を使用する際、記載内容に不足する点がありましたら具体的にお書きください

1)	特になし	693
2)	ある	168



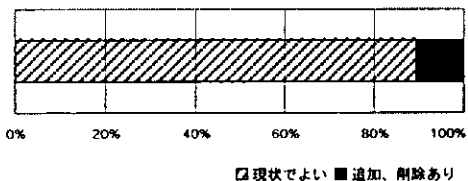
問12 母子手帳は母親のプライバシーの面から子供の記載のみにするべきという意見がありますが、どう思われますか

1)	現状通り分けなし	832
2)	母と子の2冊に分ける	141



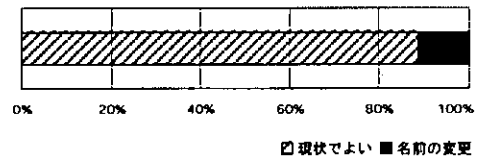
問9 3~5ヶ月、6~8ヶ月、9~11ヶ月、1才、1才半、2才、3才、4才、5才、6才における保護者、医療者の記載事項について追加、削除について

1)	現状でよい	815
2)	追加、削除あり	95



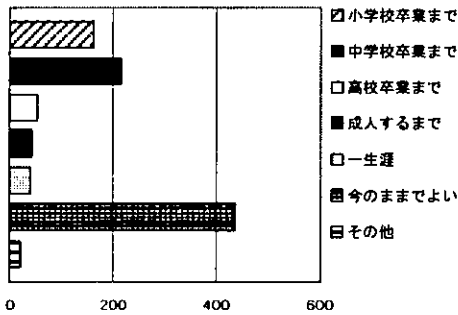
問13 母子手帳の名称の変更を希望しますか。ご意見を聞かせてください

1)	現状でよい	863
2)	名前の変更	109



問14 現在は小学校入学まで記録することになっていますが、もっと先まで記録し自分の心身の健康に配慮するようになったほうが良いと思いませんか。ご意見をお聞かせください

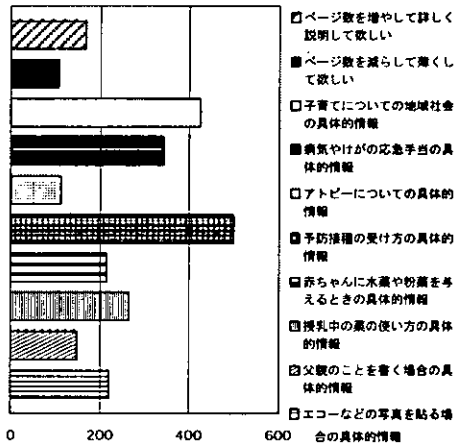
1)	小学校卒業まで	161
2)	中学校卒業まで	214
3)	高校卒業まで	53
4)	成人するまで	43
5)	一生涯	40
6)	今のままでよい	436
7)	その他	20



内容の変更について

問15 母子手帳の内容が変わるとしたらどのように変わることを望みますか（複数回答可）

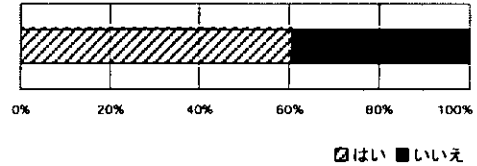
1)	ページ数を増やして詳しく説明して欲しい	166
2)	ページ数を減らして薄くして欲しい	106
3)	子育てについての地域社会の具体的情報	424
4)	病気やけがの応急手当の具体的情報	342
5)	アトピーについての具体的情報	112
6)	予防接種の受け方の具体的情報	498
7)	赤ちゃんに水菜や粉薬を与えるときの具体的情報	214
8)	授乳中の薬の使い方の具体的情報	264
9)	父親のことを書く場合の具体的情報	147
10)	エコーなどの写真を貼る場合の具体的情報	219



問16 略

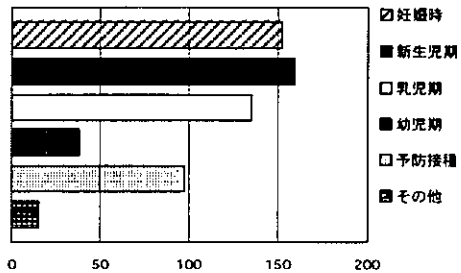
問17 病院などへの質問欄がもっと必要ですか

1)	はい	918
2)	いいえ	597



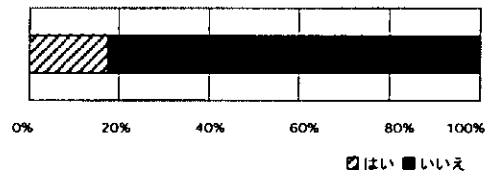
※はいと解答した方は具体的にどのスペースが欲しいですか

1)	妊娠時	152
2)	新生児期	159
3)	乳児期	135
4)	幼児期	38
5)	予防接種	97
6)	その他	15



問18 歯の記載についてももっとスペースが欲しいですか

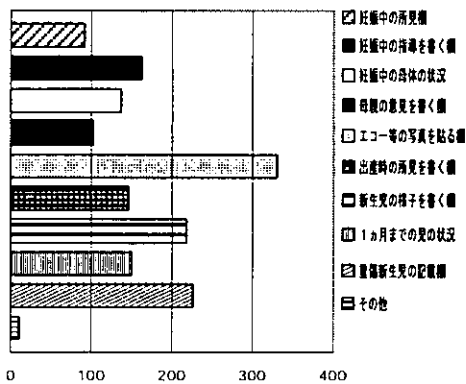
1)	はい	161
2)	いいえ	758



妊娠と分娩の関連事項

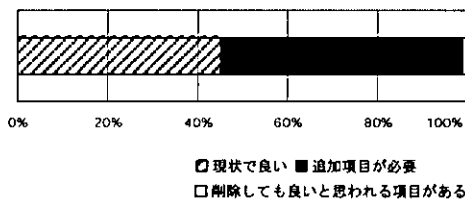
問19 妊娠から生後1ヵ月までの記載の欄が足りないと思われる事項に○印を付けて下さい

1)	妊娠中の所見欄	91
2)	妊娠中の指導を書く欄	162
3)	妊娠中の母体の状況	137
4)	母親の意見を書く欄	102
5)	エコー等の写真を貼る欄	330
6)	出産時の所見を書く欄	146
7)	新生児の様子を書く欄	218
8)	1ヵ月までの児の状況	150
9)	重傷新生児の記載欄	226
10)	その他	10



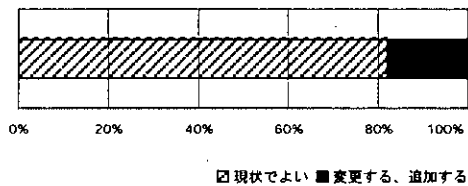
問20 妊娠分娩情報は

1)	現状で良い	566
2)	追加項目が必要	675
3)	削除しても良いと思われる項目がある	14



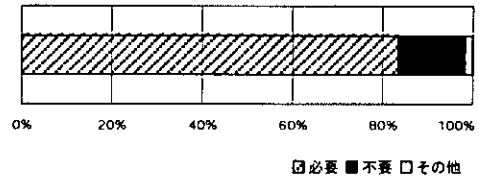
出産時の児の状態における特別な所見、処置の欄について

1)	現状でよい	393
2)	変更する、追加する	86



問21 妊娠中の煙草やアルコールの害についての具体的な危険性の説明や禁煙外来などの受診を勧める項目

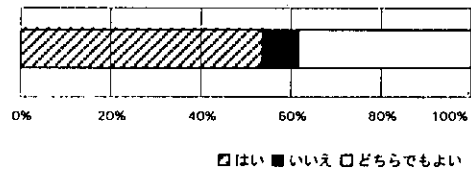
1)	必要	797
2)	不要	142
3)	その他	16



育児に関する事項

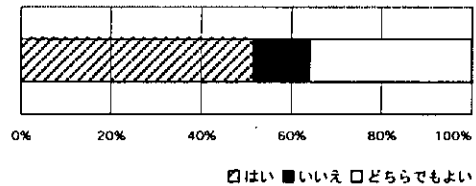
問22 国連の「児童の権利に関する条約」の中に「赤ちゃんが母乳を飲む権利」があることを母親に知らせるべきだと思いますか

1)	はい	515
2)	いいえ	76
3)	どちらでもよい	370



問23 母乳育児に関する知識と適切な援助があれば90%以上の母親が人工乳を足すことなく母乳だけで赤ちゃんを育てられるという知見があることを母親に知らせるべきだと思いますか

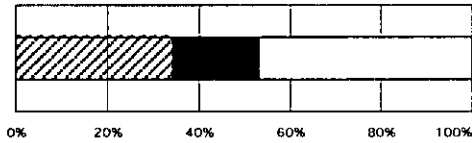
1)	はい	495
2)	いいえ	120
3)	どちらでもよい	346





問24 WHO(2002年の決議)やアメリカ小児科学会(1997年の勧告)で、生後6ヶ月間は母乳だけで育てられるべきで、果汁などの離乳準備もその他の水分も一切必要ないと推奨していることを母親に知らせるべきだと思いますか

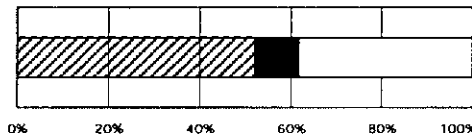
- 1) はい 329
- 2) いいえ 181
- 3) どちらでもよい 452



□はい ■いいえ □どちらでもよい

問25 「母乳育児成功のための10か条」(WHO/ユニセフ)を記載すべきだと思いますか

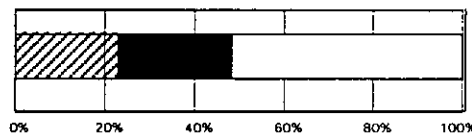
- 1) はい 514
- 2) いいえ 94
- 3) どちらともいえない 378



□はい ■いいえ □どちらともいえない

問26 「世界中の赤ちゃんが2年かそれ以上母乳で育てられるべき」を母親に知らせるべきだと思いますか

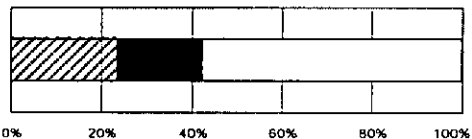
- 1) はい 227
- 2) いいえ 248
- 3) どちらでもよい 512



□はい ■いいえ □どちらでもよい

問27 1981年にWHOが「母乳代用品の販売流通に関する国際基準」を出して、人工乳などの宣伝を規制するように勧告しているのを母親に知らせるべきだと思いますか

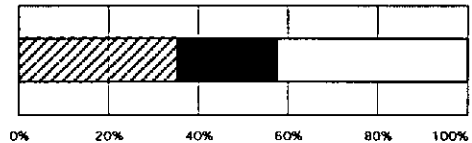
- 1) はい 233
- 2) いいえ 183
- 3) どちらでもよい 573



□はい ■いいえ □どちらでもよい

問28 現在の母子手帳の発育曲線の基準値の他に母乳育児の発育曲線の基準値も記載すべきだと思いますか

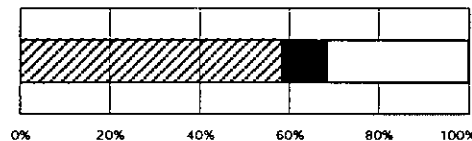
- 1) はい 350
- 2) いいえ 218
- 3) どちらでもよい 419



□はい ■いいえ □どちらでもよい

問29 離乳に関し開始、完了、離乳食の内容などの基準について記載した方が良いですか

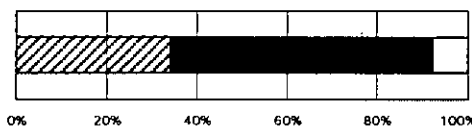
- 1) はい 575
- 2) いいえ 98
- 3) どちらでもよい 310



□はい ■いいえ □どちらでもよい

問30 1歳6ヶ月健診で「母乳を飲んでいますか」と聞く質問は必要だと思いますか

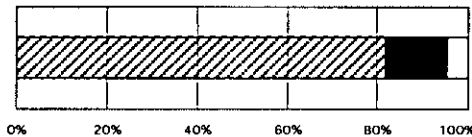
- 1) 必要 336
- 2) 不要 573
- 3) その他 76



□必要 ■不要 □その他

問31 育児に関して困った時の情報入手先や地域の母親同士の支援グループなどの連絡先の記載をすべきだと思いますか

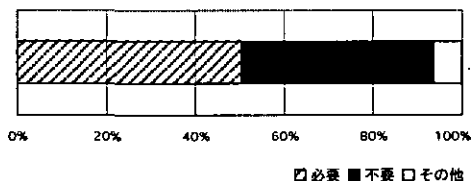
- 1) 必要 811
- 2) 不要 133
- 3) その他 47



□必要 ■不要 □その他

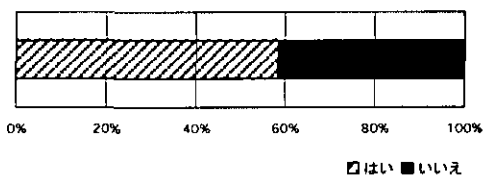
問32 テレビ、ビデオ、テレビゲームの弊害について記載すべきだと思いますか

- |    |     |     |
|----|-----|-----|
| 1) | 必要  | 496 |
| 2) | 不要  | 425 |
| 3) | その他 | 63  |



問33 乳幼児期の遊び・しつけ・おもちゃ・絵本に関する情報を記載すべきだと思いますか

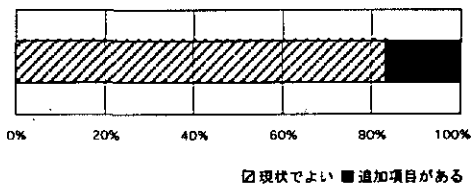
- |    |     |     |
|----|-----|-----|
| 1) | はい  | 550 |
| 2) | いいえ | 390 |



#### 医学的な事項の記載

問34 母子手帳には救急蘇生法や事故防止、予防接種などについての説明が掲載されていますが、医療関係者としては是非とも母親に伝えたい事項について教えてください

- |    |         |     |
|----|---------|-----|
| 1) | 現状でよい   | 718 |
| 2) | 追加項目がある | 144 |



## D. 考察

### I. 医療関係者のアンケート調査結果の考察

予防接種の記載について：先進諸国の内、唯一の麻疹輸出国で、年間国内で5万ないし10万人の自然感染者が存在し、麻疹による脳炎や死亡が多数存在する事実を鑑みて、予防接種の記載に対する医療関係者の意識が低いことが懸念される。

妊娠分娩情報について：北欧に代表される先進国では従来の分娩直後の母子の取り扱い方が科学的根拠に基づいて非常に問題があることが立証され、母乳育児の確立や母子の絆

を育む機運が高まり世界的に大きな潮流となっているが、医療関係者への本アンケートの声から判断するとその点が些か弱いように思われる。それに対して、当事者である母親の意識は非常に高く両者の乖離が大きい事が指摘される。

子どもの権利条約について：母乳を飲む権利と母乳を与える権利(母乳権)について著者は10年以上前に日本母乳の会で論じたが、当事者である母親の意識が非常に高い現実に対して、予想されていたことではあるが、医療関係者の意識は全般的に低調であることが判明した。

テレビ・ビデオ・テレビゲームの弊害について：日本では既に20年余り前に、小嶋謙四郎(1982)により危険性が指摘されていた。その後アメリカ小児科学会が1999年8月に2歳未満の子どものテレビ視聴禁止の警告を打ち出し、片岡直樹(2002)により深刻な事例が多数報告されている。脳、特に前頭葉(前頭連合野)の可塑性が大きい生後3歳までの時期においては発達精神神経学的に極めて重要な問題を包含している。

妊娠中の煙草やアルコールの害について：これらの危険性については専門家の間では、日本の対応が甘すぎるとの批判の声が寄せられている。また、禁煙外来受診を勧める項目が必要であるが高率であったものの、諸外国に比べその認識が低いと評価される。

母乳育児の発育曲線の基準値の記載の必要性について：どちらでもよいが記載した方がよいより多数を占め、この問題に対する医療関係者の関心が低いことが伺われた。出生体重が在胎週数に比べて少ない場合や生後間のない時期の体重増加のcatch-up growthによる体重増加が大であると、一生に亘って所謂「生活習慣病」に罹患しやすい体質にプログラミングされることが証明されているゆえ、更に注目すべき内容であると思われる。

1歳6ヶ月健診で「母乳を飲んでいますか」

の質問について：不要と言う回答が非常に多かった。母乳は栄養素の補給以外に色々な生物学的意義が明らかにされており、今後ますます解明されてくる事が予想されるので、今後も注目すべき項目であると分担研究者は考えている。

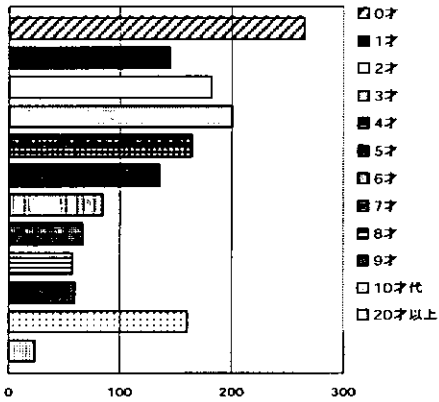
## II. 母親

### 母子手帳に関する母子へのアンケート

#### 一般的なこと

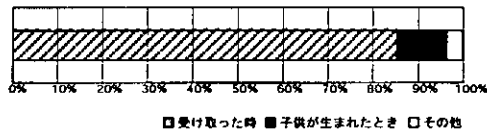
問1 お子さんは何歳ですか（乳児の場合は月齢を付して記載して下さい）

1) 0才	264
2) 1才	144
3) 2才	181
4) 3才	200
5) 4才	164
6) 5才	135
7) 6才	84
8) 7才	66
9) 8才	57
10) 9才	59
11) 10才代	160
12) 20才以上	23



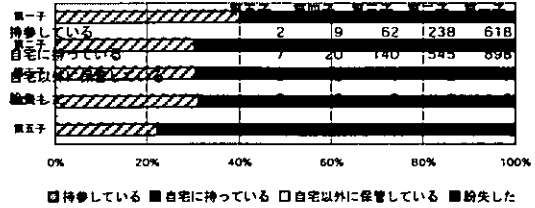
問2 母子手帳に一通り目を通したことがありますか

1) 受け取った時	1292
2) 子供が生まれたとき	167
3) その他	56



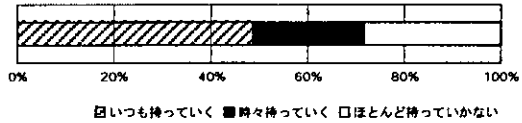
問3 お子さんの母子手帳は現在も持っていますか

	第一子	第二子	第三子	第四子	第五子
1) 持参している	618	238	62	9	2
2) 自宅に持っている	898	545	140	20	7
3) 自宅以外に保管している	7	2	1	0	0
4) 紛失した	3	1	0	0	0



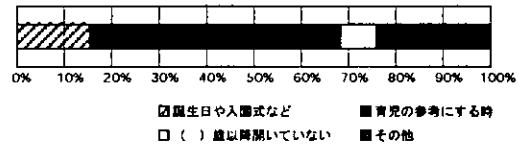
問4 お子さんを診療所や病院に連れて行くときに母子手帳を持って行きますか

1) いつも持っていく	742
2) 時々持っていく	349
3) ほとんど持っていかない	432



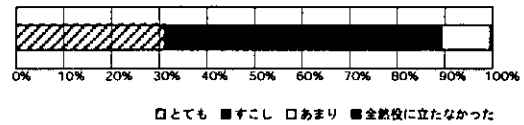
問5 医療機関を受診する以外に母子手帳をどんな時に開きますか

1) 誕生日や入園式など	252
2) 育児の参考にする時	861
3) ( )歳以降開いていない	125
4) その他	392



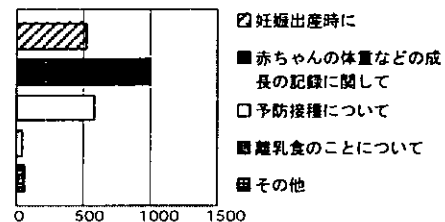
問6 育児に母子手帳は役に立ちましたか

1) とても	475
2) すこし	883
3) あまり	158
4) 全然役に立たなかった	6



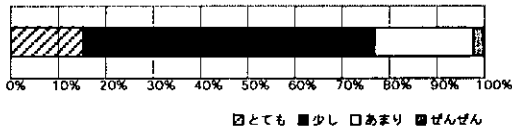
問7 具体的に何に役立ちましたか

1) 妊娠出産時に	518
2) 赤ちゃんの体重などの成長の記録に関して	997
3) 予防接種について	581
4) 離乳食のことについて	37
5) その他	56



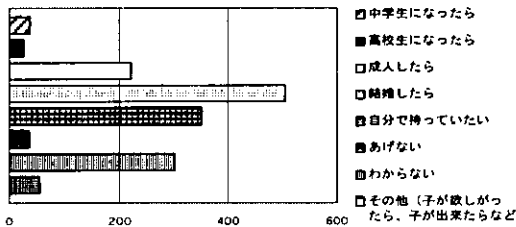
問8 お使いになった母子手帳の育児について具体的な指針は充分でしたか

1)	とても	230
2)	少し	926
3)	あまり	313
4)	ぜんぜん	34



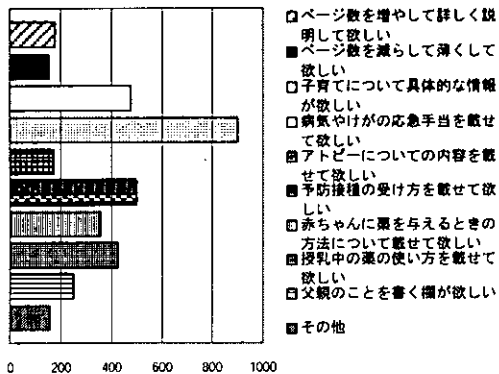
問9 将来母子手帳をお子さんにあげようと思いますか

1)	中学生になったら	36
2)	高校生になったら	25
3)	成人したら	221
4)	結婚したら	504
5)	自分で持っていたい	351
6)	あげない	35
7)	わからない	300
8)	その他(子が欲しがったら、子が出来たらなど)	55



問10 母子手帳の内容が変わるとしたらどのように変わってほしいと望みますか

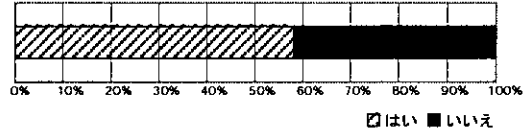
1)	ページ数を増やして詳しく説明して欲しい	176
2)	ページ数を減らして薄くして欲しい	151
3)	子育てについて具体的な情報が欲しい	473
4)	病気やけがの応急手当を載せて欲しい	900
5)	アトピーについての内容を載せて欲しい	171
6)	予防接種の受け方を載せて欲しい	496
7)	赤ちゃんに薬を与えるときの方法について載せて欲しい	354
8)	授乳中の薬の使い方を載せて欲しい	424
9)	父親のことを書く欄が欲しい	248
10)	その他	157



問11 略

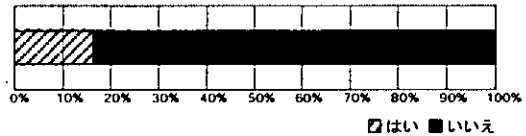
問12 離乳に関し開始、完了、離乳食の内容などにつき記載したいですか

1)	はい	849
2)	いいえ	609



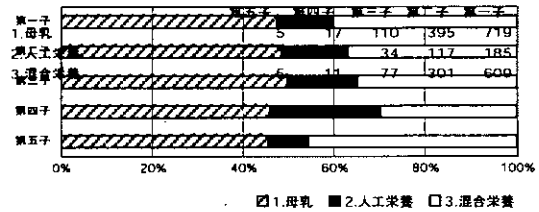
問13 手帳のサイズ(14.8cm×10.6cm)は全国まちまちですが大きいほうが良いですか

1)	はい	246
2)	いいえ	1257



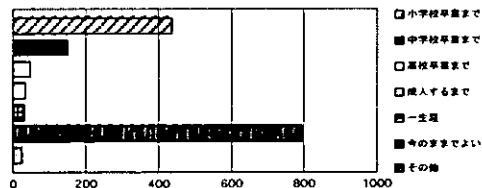
問14 生後3ヶ月までの栄養について

	第一子	第二子	第三子	第四子	第五子
1) 1.母乳	719	395	110	17	5
2) 2.人工栄養	185	117	34	9	1
3) 3.混合栄養	609	301	77	11	5



問15 現在は小学校入学までで記録することになってますがもっと先まで記録し自分の心身の健康に配慮するようになったほうが良いと思いますか。ご意見をお聞かせください

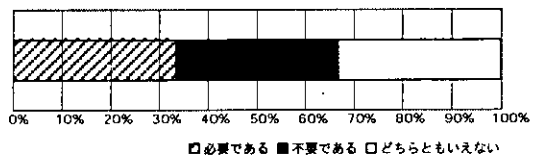
1)	小学校卒業まで	434
2)	中学校卒業まで	147
3)	高校卒業まで	45
4)	成人するまで	33
5)	一生涯	30
6)	今のままでよい	793
7)	その他	24



生後間もない時期の育児について

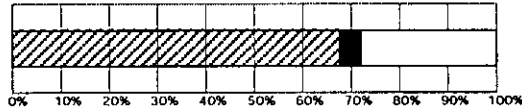
問16 「お産の後、産褥(へそのお)処置が終わったら、特別な理由が無い限り、直ぐに赤ちゃんをお腹の上に置いて母乳を含ませることが母子の両方に非常に大切である」この記載について

1)	必要である	986
2)	不要である	72
3)	どちらともいえない	439



問17 母子の両方にとって、お産の後、必ず始めに初乳以外のものを赤ちゃんに口から与えるべきでないことの大切さが知られておりますがこの記載について

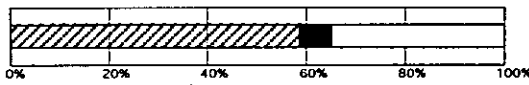
- 1) 必要である 1011
- 2) 不要である 66
- 3) どちらともいえない 418



□必要である ■不要である □どちらともいえない

問18 「お産の後、可能な限り、母子は常に同室で赤ちゃんが母乳を欲しがる時はいつでも与えることが大切である」この記載について

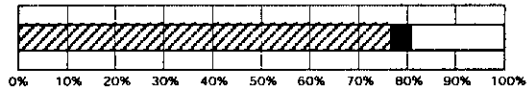
- 1) 必要である 877
- 2) 不要である 95
- 3) どちらともいえない 521



□必要である ■不要である □どちらともいえない

問19 お乳がよくでるように、肉を控え、野菜、果物、鯉汁等の魚の汁物を充分にとり、睡眠や休養も充分にとることが大切であることを自分だけでなく家族の理解が得られるように記載すること

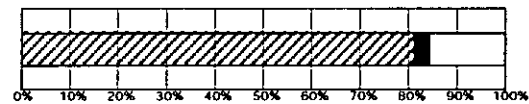
- 1) 必要である 1150
- 2) 不要である 62
- 3) どちらともいえない 286



□必要である ■不要である □どちらともいえない

問20 「母乳には病氣から守る免疫物質が含まれ栄養的に殆ど完全食品である」という記載

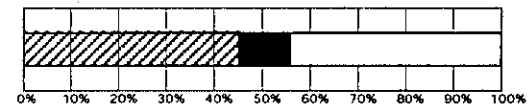
- 1) 必要である 1216
- 2) 不要である 45
- 3) どちらともいえない 234



□必要である ■不要である □どちらともいえない

問21 「知識があれば90%以上に母乳育児ができる」との記載について

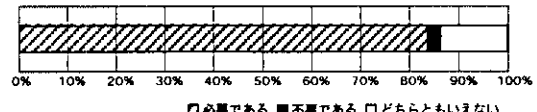
- 1) 必要である 672
- 2) 不要である 159
- 3) どちらともいえない 657



□必要である ■不要である □どちらともいえない

問22 「授乳行為は母子の信頼関係を築くのに役立ち、授乳中は赤ちゃんの視線にお母さんが目を合わせる事がコミュニケーションの発達に大切である」の記載について

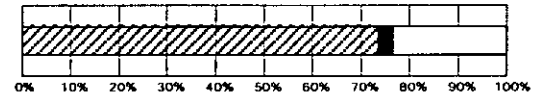
- 1) 必要である 1251
- 2) 不要である 38
- 3) どちらともいえない 206



□必要である ■不要である □どちらともいえない

問23 「テレビやビデオへ長時間接触（特に3歳まで）の危険性を警告する」ことについて

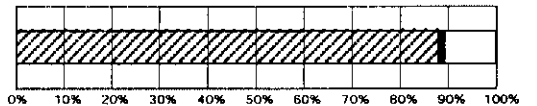
- 1) 必要である 1102
- 2) 不要である 44
- 3) どちらともいえない 350



□必要である ■不要である □どちらともいえない

問24 「コミュニケーション能力、言葉の理解、記憶や行動などの発達にお母さんの赤ちゃんへの接し方、遊び方の大切さ」の記載について

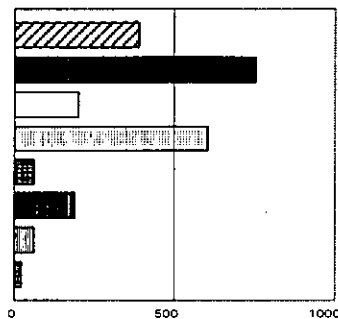
- 1) 必要である 1314
- 2) 不要である 19
- 3) どちらともいえない 161



□必要である ■不要である □どちらともいえない

問25 「上の子が赤ちゃんがえりをして困った」など気軽な相談相手は誰ですか

- 1) 父親 390
- 2) 母親・姑 753
- 3) きょうだい 199
- 4) 友人 603
- 5) 小児科医 60
- 6) 育児書 189
- 7) その他 60
- 8) 夫 20

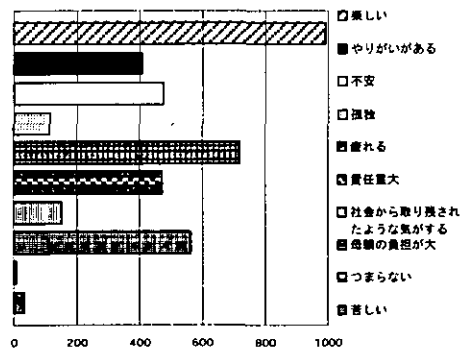


□父親  
■母親・姑  
□きょうだい  
□友人  
□小児科医  
■育児書  
□その他  
■夫

3ヶ月前後から以降の育児について

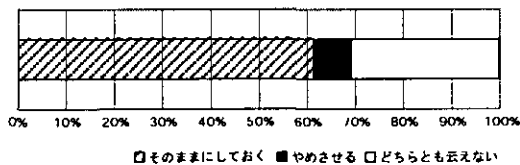
問26 育児について感じていることで該当するものを選んで下さい  
(複数回答可)

1)	楽しい	988
2)	やりがいがある	405
3)	不安	472
4)	孤独	114
5)	疲れる	719
6)	責任重大	471
7)	社会から取り残されたような気がする	151
8)	母親の負担が大	562
9)	つまらない	8
10)	苦しい	31



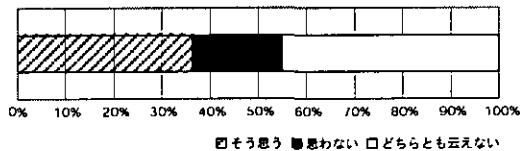
問27 ガラガラやおもちゃなど何でも口に持っていき「なめる」ときどうしますか

1)	そのままにしておく	899
2)	やめさせる	112
3)	どちらとも云えない	454



問28 育児は子どもと生活をしているだけのことで特別なことではない簡単なことであることを知らせることが大切である

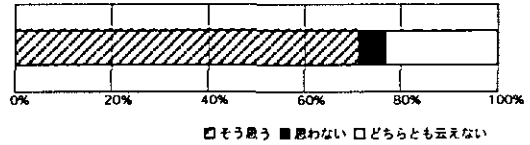
1)	そう思う	525
2)	思わない	269
3)	どちらとも云えない	652



6ヶ月前後から以降について

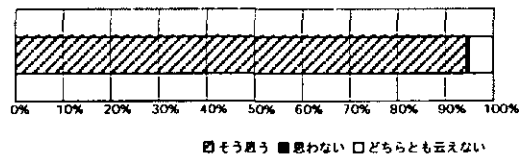
問29 人見知は信頼している母親とそれ以外の人の識別能力を示す指標となる

1)	そう思う	1043
2)	思わない	81
3)	どちらとも云えない	340



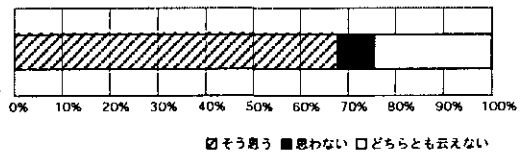
問30 手当たり次第に触る時期があるのは手で感触を確かめるため発達欲求である

1)	そう思う	1384
2)	思わない	7
3)	どちらとも云えない	75



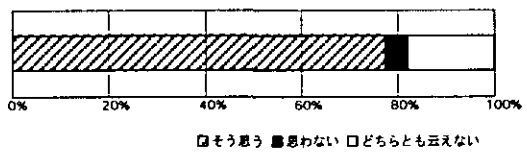
問31 乳幼児期の発達段階にあったおもちゃと遊び方に関する情報が必要ですか

1)	そう思う	994
2)	思わない	113
3)	どちらとも云えない	359



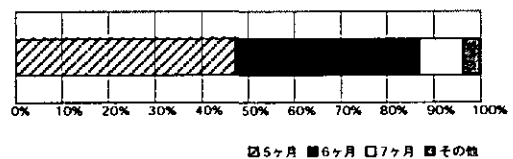
問32 乳幼児期の絵本の読み聞かせに関する情報が必要ですか

1)	そう思う	1137
2)	思わない	67
3)	どちらとも云えない	263



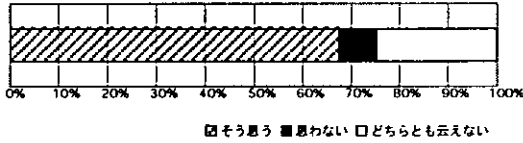
問33 離乳食開始は何ヶ月以降が良いと思いますか

1)	5ヶ月	675
2)	6ヶ月	569
3)	7ヶ月	132
4)	その他	53



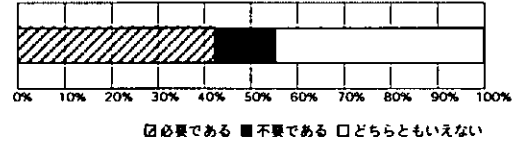
問34 離乳食はバランスの取れた親の食事を軟らかくうす味にする  
等少し工夫すればよい

- 1) そう思う 982
- 2) 思わない 115
- 3) どちらとも云えない 360



問39 「保育園や幼稚園へ早く行かせ子どもと離れたい、子どもに  
関わりたくない」という母の気持ちのもたらす子に対する悪  
影響の記載について

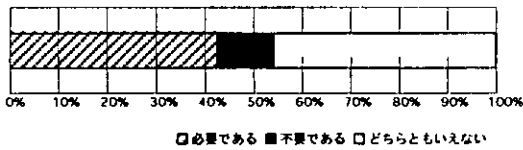
- 1) 必要である 624
- 2) 不要である 191
- 3) どちらともいえない 660



12ヶ月前後から以降について

問35 「母と子が一緒になって物や人を指差しが出来る」という記  
載の重要性について

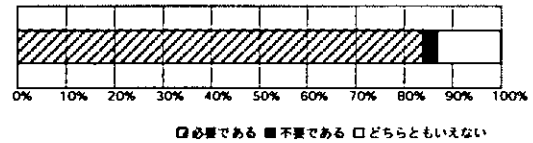
- 1) 必要である 619
- 2) 不要である 170
- 3) どちらともいえない 669



1歳半前後から以降について

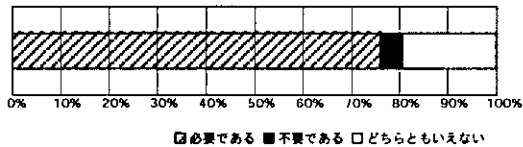
問40 「外遊びによって子どもは心身ともに育つ」という重要な基  
本的情報の記載について

- 1) 必要である 1234
- 2) 不要である 44
- 3) どちらともいえない 193



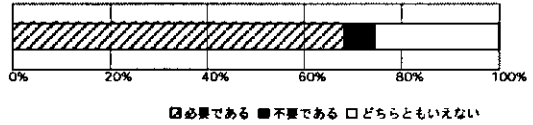
問36 発達段階に合わせた「しつけ」の情報について

- 1) 必要である 1124
- 2) 不要である 67
- 3) どちらともいえない 288



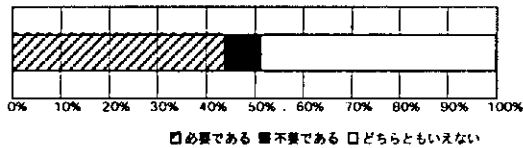
問41 「母と子が一緒に遊び込むと絆が深くなる」という情報の記  
載について

- 1) 必要である 1000
- 2) 不要である 92
- 3) どちらともいえない 375



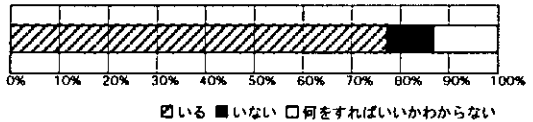
問37 早期教育が発育を促めるといった的確な情報と警告文の必要性  
について

- 1) 必要である 646
- 2) 不要である 108
- 3) どちらともいえない 718



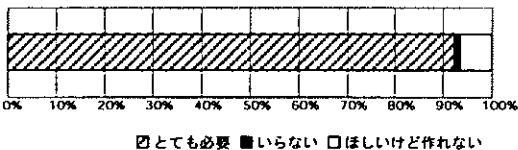
問42 「三つ子の魂百まで」という言葉の意味を理解しておられま  
すか

- 1) いる 1112
- 2) いない 136
- 3) 何をすればいいかわからない 191



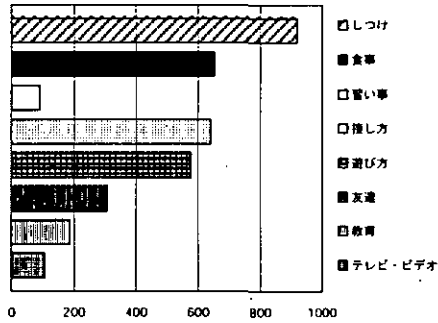
問38 子どもの友達、母親の友達がほしいですか

- 1) とても必要 1358
- 2) いらない 17
- 3) ほしいけど作れない 97



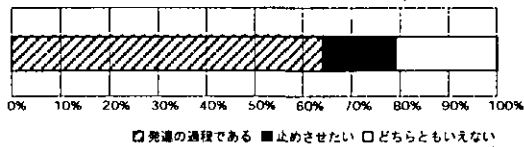
問43 母親自身が必要とする関心のある情報の内容について

1)	しつけ	919
2)	食事	649
3)	習い事	89
4)	接し方	639
5)	遊び方	576
6)	友達	306
7)	教育	185
8)	テレビ・ビデオ	104



問44 この時期は物を叩く、投げるなど乱暴と思われる行動をすることについて

1)	発達過程である	924
2)	止めさせたい	218
3)	どちらともいえない	301



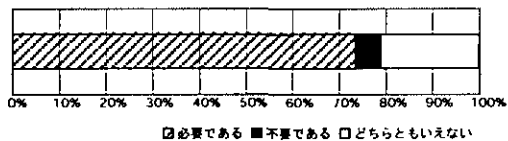
問45 テレビやビデオを3歳までは見せない方がよいが、見せている一日当たりの時間は

1)	30分以内	205
2)	1時間以内	444
3)	2時間以内	530
4)	それ以上	220



問46 わが子がかわいいと思えない、うっとうしい、時々にくたらしい、という気持ちの解決法の記載について

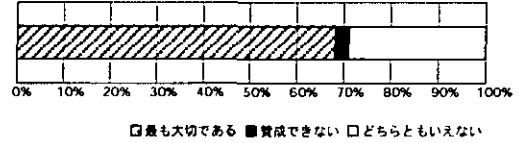
1)	必要である	1085
2)	不要である	79
3)	どちらともいえない	313



2歳半前後から以降について

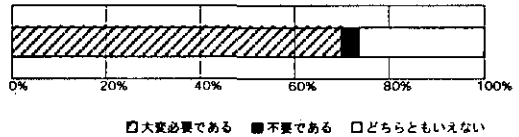
問47 自我の芽生えで「イヤッ」と言い始めた時「出来るよね」「わかるよね」と言って「目を見つめて信頼する態度」で対応すること

1)	最も大切である	992
2)	賛成できない	44
3)	どちらともいえない	421



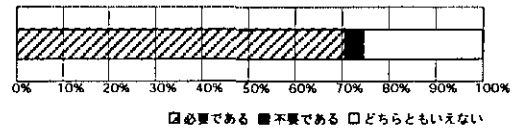
問48 セルフコントロール（自己抑制）の気持ちを育てる方法の記載について

1)	大変必要である	1020
2)	不要である	50
3)	どちらともいえない	386



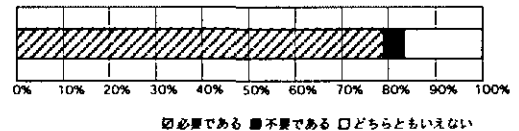
問49 しつけとして子どもをたたくことの子への影響についての情報の記載について

1)	必要である	1032
2)	不要である	58
3)	どちらともいえない	371



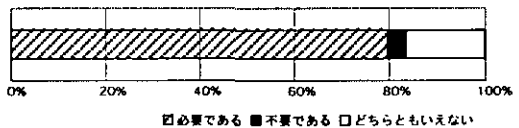
問50 子どもに対する上手な接し方や遊ばせ方の記載について

1)	必要である	1151
2)	不要である	63
3)	どちらともいえない	243



問51 他人の子どもをたたく、噛み付く、突き倒す、ひっかく、砂をかけるなどの行動に対する対応の仕方の記載について

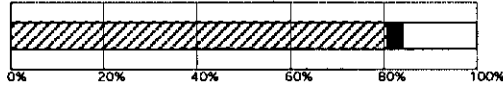
1)	必要である	1159
2)	不要である	56
3)	どちらともいえない	240





問52 自分の子どもの行動の動機や理由について大体はつかめますか

- 1) つかめる 1137
- 2) つかめない 46
- 3) つかみたいけどわからない 224

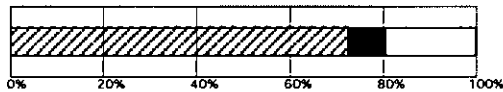


□つかめる ■つかめない □つかみたいけどわからない

就学後について

問53 子どもの成長発達に関する情報の記載は必要ですか

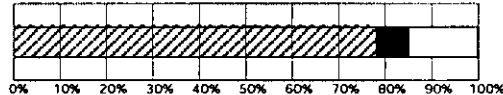
- 1) 必要である 1052
- 2) 不要である 115
- 3) どちらともいえない 284



□必要である ■不要である □どちらともいえない

問54 罹りやすい病気や薬の飲ませ方などの情報の記載は必要ですか

- 1) 必要である 1129
- 2) 不要である 97
- 3) どちらともいえない 218

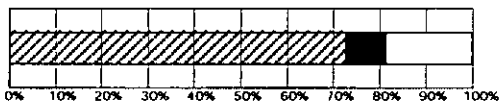


□必要である ■不要である □どちらともいえない

医学的なことについて

問55 胎児のエコー（超音波）などの写真を貼るスペースが欲しいですか

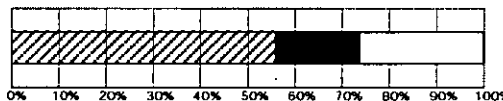
- 1) 必要である 1080
- 2) 不要である 125
- 3) どちらともいえない 280



□必要である ■不要である □どちらともいえない

問56 分娩時と新生児期のカルテの記載のコピーが記念に欲しいですか

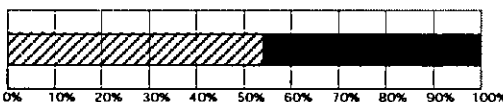
- 1) 必要である 836
- 2) 不要である 265
- 3) どちらともいえない 395



□必要である ■不要である □どちらともいえない

問57 子どもの病気（病名、入院した期日、主治医名等）を母子手帳に記載していますか

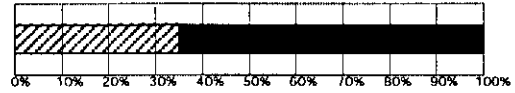
- 1) はい 799
- 2) いいえ 677



□はい ■いいえ

問58 歯の記載についてもっとスペースが欲しいですか

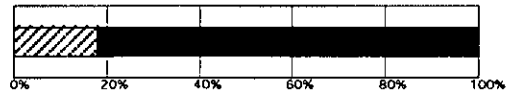
- 1) はい 517
- 2) いいえ 957



□はい ■いいえ

問59 母子手帳の予防接種の記録はお子さんが留学するときなどに証明書を作成するのに必要な場合があることをご存知でしたか

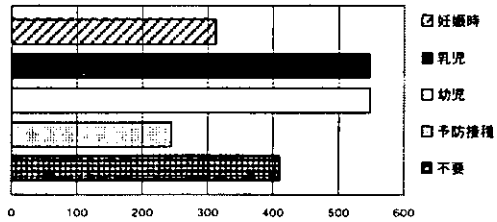
- 1) 知っていた 267
- 2) 知らなかった 1214



□知っていた ■知らなかった

問60 病院などへの質問欄のどの余白（スペース）がもっと欲しいですか

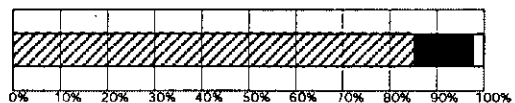
- 1) 妊娠時 311
- 2) 乳児 547
- 3) 幼児 547
- 4) 予防接種 243
- 5) 不要 409



□妊娠時  
■乳児  
□幼児  
□予防接種  
■不要

問61 母親のプライバシーの面から子どもの記載のみにすべきという意見について

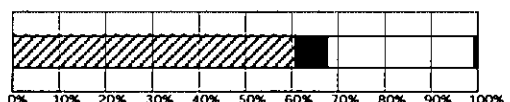
- 1) 現状通り分けない 1250
- 2) 母と子の2冊に分ける 183
- 3) その他 32



□現状通り分けない ■母と子の2冊に分ける □その他

問62 母子手帳交付時に活用方法についての説明を行政側か医療関係者が行なう体制を整えることについて

- 1) 必要である 887
- 2) 不要である 100
- 3) どちらともいえない 463
- 4) その他 9



□必要である ■不要である □どちらともいえない □その他

## II. 母親のアンケート 調査結果の考察

**母子手帳を受け取った際の行動について：**  
殆どどの母親が一通り目を通し、ほぼ全例が所持し、医療機関受診時に持参することを考慮すると、母子健康手帳の一層の活用を促すためには、手渡す際に、内容を熟知した医療関係者が簡にして要を得た全貌の把握と利用方法のポイントを啓蒙することが効果的であると判明した。プレネイタルビジットに導入することも一法である。母子健康手帳の取り扱いに関連して、妊娠中の自分の体重等の計測値が他人の目に触れることにながりの抵抗を感じている母親が存在するという微妙な女性心理についての予想外の指摘を受けた。

**予防接種について：**その有害事象が発生すると、マスコミは予防接種の本来の理念を同時に的確に伝える事をせずに、有害事象だけを大きく取り上げる傾向があり、接種率が低下し、麻疹輸出大国と米国から名指しを受ける事態になっている。

**離乳の内容記載の希望について：**本邦では所謂生活習慣病として理解されている肥満、2型糖尿病、高血圧等の起源が妊娠中の不養生や新生児や乳児の栄養法、換言すれば、人工栄養によるエネルギー代謝のプログラミングである点に目を向ける必要がある。

**手帳の記録期間の延長について：**胎生期や出生後の成長発達という発育暦は上述の代謝的プログラミングのみならず虐待や反社会的行動などの異常行動の世代間連鎖というエピゲネチックな面に対して予防的介入が必要になることが予測されることから、記録期間の延長は、縦断的記録の重要性の認識を母親に求めるよりもむしろ行政側の見識と責任で行うべき内容である。

**母乳および授乳について：**母乳育児の重要性は実際に育児を実体験している母親の本能的・直感的な哺乳動物としての感性がにじみ出ている回答である。この母乳育児関連事項は医療関係者の認識との乖離が最も大である

ことを強調したい。育児の現場で最も必要としている情報が氾濫している育児書の大半に欠落しているとの厳しい指摘も寄せられている。

**離乳食の記載について：**極めて低い評価であるが、先進国では、所謂生活習慣病、特に肥満と糖尿病が流行病のように蔓延しており、的確な対応方法が無いとまでいわれている。しかし、科学的根拠の項で述べたように、胎生期から乳児期初期の栄養状態により代謝プログラミングが惹起されることが証明されている。このことは幼少の時から母乳栄養や離乳食の時期に摂食の訓練の臨界期が存在していると判断され、極めて大切な予防的介入が可能な時期である。

**母子手帳に関する母親の希望について：**単に発育記録や予防接種歴、健康状態を記録するばかりでなく、よりきめ細かな健康情報も盛り込んだ手帳が必要との指摘がなされていた。

**育児に対する基本的な考えについて：**個体発生途上の子どもの脳を始めとする発育には特に乳幼児期に臨界期が集中的に存在しており、視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚の五感の内、触覚と味覚が同じ中枢神経の領域で認識していること、脳の発達には遺伝と環境の両方に支配されて極めて可塑性に富み、しかも不可逆的な変化が起こる時期で、手当たり次第に触る舐める行為などに深い意味が存在することを広く母親に知らせるべきである。

**早期教育について：**発育を歪める警告の必要性については半数がどちらとも言えないとしており、必要であるとした人を上回った。殆どの母親が大なり小なり早期教育の教材を入手しており、現下の日本では既に一部で早期教育の名の下にビデオ漬けの危険性が蔓延し深刻な事態が起きているので、発育を歪める危険性に対する警戒心が薄いことの反映であると解釈される。

**母親の子供と離れたくない関りたくないという**

気持ちについて：予想外に軽視されているという結果であったが、言葉を喋ることが出来ない乳児はもちろん出生直後の新生児でさえも、自力で生存することが出来ないだけに、自分を世話してくれる母親がいかなる気持ちでいるかという深層心理を敏感に察知する能力を有することを母親に周知させることが必要である。

外遊びの必要性について：子どもが成長発達して大人になることは「個体発生は系統発生の短縮された速やかな反復である」、換言すれば、ヒトに到達するまでの進化の場はまさに「澄んだ空気や水・汚染のない土壌・緑の木々・太陽の光と月の明かりの日内リズム」という自然との触れ合いの中で行われてきた。その原風景を子どもは求めている。都会の育児環境としては良質な公園が必須である所以である。

2歳前後の時期の子どもへの対応について：目を見つめて信頼する態度で対応、セルフコントロールを育てる方法の記載、しつけとして子供をたたく影響の記載、子供への上手な接し方や遊ばせ方の記載、他の子供を攻撃するときの対応の仕方、子供の行動の動機について大体つかめる、など具体的な事項の記載の必要性が明確になった。乳児期をすぎて社会性が育まれる時期の2歳前後の反抗期における対応における的確な情報が求められるところである。セルフコントロールを育む時期であることを母親に知らせることも重要である。

以上、母子手帳の記載内容は遍く最も信頼されている育児情報として、今後も良質で的確な情報を速やかに提供する使命を担っている。それに応えるべく常に高いレベルで先見性のある育児情報の提供が国民から求められている。したがって、母子健康手帳に関する厚生労働科学研究として常時継続的に取り上げるべき課題である。

アンケートの集計結果について箇条書きの設

問に対する回答以外に傾聴すべき意見が多数寄せられた。代表的な意見を以下に掲げた。分娩時の母子の扱いについて、以下の列記した事項について母子健康手帳への記載が最低限必要であるとの指摘を受けたのでここに掲げた。この点においては現場との乖離を早急に解消する努力が強く求められている。産科医だけでなく母親の意識改革も必要である。

- (1) 出産後すぐに素肌で赤ちゃんを抱きしめる。
- (2) できるだけ早く直接授乳を始める。
- (3) 赤ちゃんが欲しがるだけ頻回に授乳する。そのために必ず母子同室とする。
- (4) 医学的に必要以外、母乳以外のものを与えない。
- (5) 母乳育児で育つ赤ちゃんの体重増加の正常値は一日15g以上である。
- (6) 生後14日たっても生下時体重に戻らない場合は、何が問題かを検索する。
- (7) 一日に5～6回の尿の排泄があれば母乳は足りている。
- (8) 赤ちゃんが泣くことや欲しそうにしていることが母乳不足ではない。
- (9) 上手に抱いて、深く乳輪が隠れるくらいまで口に含ませれば、乳首を痛めないし、分泌も良くなる。
- (10) 離乳食が始まっても欲しがるだけ授乳し、できれば1年以上の授乳を勧める。

その他の重要な指摘として、分娩後の赤ちゃんに、母乳の出が悪いと指摘され糖水や人工乳を与えるように強力的に勧められ、非常に困惑した母親が多数いることがアンケート調査の自由記述欄で判明した。産科医や助産師、保健師などへの教育が喫緊の問題であるとの指摘が多数の母親から寄せられた。また、アンケート調査の自由記述欄で、離乳食の記載が的確でないという指摘が多数寄せられた。胎児アルコール症候群の記載について、研究者から専門家としての意見として、妊娠母体アルコールを吸入させて胎仔の血中濃度を測定して海馬の細胞の脱落に関する事実やその他の報告を根拠として母子健康手帳における胎児へのアルコールの影響についての記載が非常に不満足である旨の指摘を受けた。煙

草の害についても同様であった。分担研究者として、生まれてくる子どもの先天異常を予防する上で、母親が自分で出来る数少ない項目であるだけに配慮が必要と思われた。

## E. 結論

母子健康手帳に載せる育児情報の使命は、体重・身長・頭囲等の成長に関する標準身体計測値や定頻・喃語・お坐り・指差し等の発達の標準値と対比して評価し、背後に潜んでいる原因となる疾患や環境を早期発見・早期治療や原因を除去などの医学的視点で一般に行われてきた。しかし、母乳栄養と人工栄養では体重増加の標準曲線が異なるのみならず、最近では、子宮内での体重増加が少なく出生体重が在胎週数に比べて軽く、生後早期に catch up growth が起こると数十年先に所謂生活習慣病に罹患しやすい体質にプログラミングされることが発見された。また、母乳栄養に含まれている必須脂肪酸が人工栄養には含まれていないため、網膜や脳神経細胞のシナプス部位の細胞膜を構成している長鎖多価不飽和脂肪酸の組成が異なり、その結果として膜の流動性が低いために神経が機能的に劣ることが指摘されている。更に、母乳には人工栄養には含まれていないレプチンが胃粘膜上皮の受容体から迷走神経を介する末梢性神経経路のみならず視床下部外側部を介して食物摂取の量の制御を行っていることが示され、乳児期の栄養指導において根本的な変革が迫られている。

生後早期の母子分離は母子に対して行動面のみならず心理面においても非常に影響が大きいことが神経内分泌行動学的に立証されている。出生直後に可及的速やかに乳房を含ませ母子同室で母子分離を禁じ、母乳育児を軸とする母子相互作用により至福の時間を共有できる環境を整え基本的絶対的信頼(basic trust)を乳児期に確立することが総てに優先する母子への対応であることを周知せしめる

のが喫緊の事項である。幼児期以後においても、日本古来の風習である親子が畳の上で川の字に並んで寝る習慣が母子の両者に好ましいことが小児精神医学者である渡辺久子氏により結論されている。母子分離をすると成長ホルモン分泌が低下し最終的にはポリアミンの産生が減少し細胞分裂・分化・成熟が阻害される。一方では、子への適度な触覚刺激などの働きかけが加わらないと神経細胞のアポトーシスが惹起され、他方では痛覚などの過剰な刺激が加わるとNMDA受容体の興奮毒性による神経細胞死が起こる。

また、テレビ・ビデオなど進化の過程で経験した事のない人為的な平面的な画像や音声が入るヒトを最も特徴付ける前頭前野の不活性化を惹起し各連合野間の統合的発達が阻害されることが証明されテレビによる子守の危険性が強調されるようになった。更なる啓蒙が重要である。

全体としては、育児に関する今回の設問に対して多くの項目で肯定的な意見が多かった。今後も継続的な地道な啓蒙活動が必要と結論される。

## 謝辞

本研究を行うに当たり種々ご協力を頂きました香川大学医学部小児科講座・周産母子センター教室員各位、名古屋市立大学小児科教室医局長・教室員・秘書各位、アンケート調査のコンピュータ入力等にご尽力を頂いた香川大学医学部小児科講座の阿部祥子、金丸美和両事務担当者、図表の作成と論文の入力にご尽力頂いた大西愛理教授秘書、その他の研究にご協力頂きました各位に深甚なる感謝を申し上げます。